

平成30年度の事業をお知らせします

【総務費】

- ・総合計画策定業務 946万円
第6次総合計画策定に係る経費
- ・地域振興施設管理業務 6,446万円
クマヤキハウス建設、相生総合交流ターミナル屋根塗装などに係る経費
- ・地方創生事業 7,714万円
まちづくり会社設立準備、再生可能エネルギーセンター設立準備などに係る経費

【民生費】

- ・障害者総合支援事業経費 2億3,859万円
障害福祉サービス利用、更生医療などの給付費に係る経費
- ・子ども・子育て支援事業 1億3,216万円
認定子ども園運営の補助、子育て支援センター事業に係る経費

【衛生費】

- ・地域医療維持助成事業 1億4,000万円
住民の健康を守る地域医療維持のための津別病院への助成
- ・一般廃棄物最終処分場施設整備事業 3,526万円
一般廃棄物最終処分場実施設計業務委託に係る経費



認定子ども園



津別病院

【消防費】

- ・事務組合負担金 3億3,656万円
美幌・津別広域事務組合（津別消防署）への負担金などに係る経費

【農林業費】

- ・国営農地再編整備事業推進事業 7,538万円
国営農地再編換地業務などに係る経費
- ・木材工芸館整備事業 1億5,979万円
木材工芸館改修、外構工事、備品購入に係る経費

【商工費】

- ・商工振興補助費等 3,468万円
起業等振興促進補助などに係る経費

【土木費】

- ・町道整備事業 4,320万円
町道22号線他1路線改良舗装工事などに係る経費
- ・町営住宅等建設整備事業 2,342万円
本岐団地（特公賃住宅・1棟1戸）建設整備に係る経費

【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 3,291万円
津別高校振興対策（バス通学費、制服購入に係る補助）や公営塾運営業務に係る経費
- ・スクールバス経費 5,095万円
スクールバス購入（中型バス）、スクールバス運行に係る経費



木材工芸館



津別高校

平成30年度 町政方針（抜粋）

「まちをロマンチックな エコタウンに：4年目」

3月5日から始まった定例町議会において、平成30年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介いたします（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

《公約の推進》

第1次産業の振興につきましては、町の基幹産業である農業は、国営農地再編整備事業が平成27年度に実施地区となり4年目を迎えます。平成36年度までの長期間の事業であります。経営基盤をより確かなものにするともに、後継者等の担い手の確保を支援し、再生産・持続可能な農業の実現を図って参ります。

林業につきましては、森林バイオマスなどによる再生可能エネルギーを活用した「低炭素・循環・自然共生」を柱に、資源循環型のまちづくりを引き続き進めて参ります。また、森林認証や、加工・流通過程の管理認証の取得に対する助成の結果、町内11事業者が認証を取得し、認証材の利活用に取り組んでいます。今後とも「愛林のまちつべつ」にふさわしい林業の振興を図って参ります。

少子化・高齢化社会への対応につきましては、認定子ども園の利用料等を引き続き軽減して子育てを支援するとともに、

子どものみならず高齢者も楽しめる場として、自然運動公園一帯のリニューアルを年次計画で進めて参りますが、本年度は、木材工芸館とその周辺の改修に着手します。

中心市街地の活性化につきましては、「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」に基づき、健康福祉センター等を含めた複合庁舎の基本設計に着手するとともに、持続可能なコンパクトでロマンチックなまちなか再生に向け、地域再生計画に基づく地方創生推進交付金事業を推進して参ります。また、多目的活動センターさんさん館内に設置しています観光協会の充実強化を支援し、さらなる観光振興を推進して参ります。

老朽化したインフラの再整備につきましては、計画に基づき実施している道路・橋梁の改修を引き続き進めるとともに、簡易水道事業につきましては、上里導水管の更新工事に着手して参ります。下水道事業につきましては、農業集落排水事業を特定環境保全公共下水道事業に

統合し経費の節減に努めて参ります。住宅建設につきましては、本岐地区に特公賃住宅1戸を新規に整備するとともに、既存住宅の適切な維持管理を行うて参ります。

庁舎、議会議事堂、健康福祉センター、一体化した複合庁舎の建設につきましては、「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」に示される新庁舎の基本方針等に基づき、基本構想の策定と基本設計に着手して参ります。なお、具体的な事項につきましては、議会特別委員会及び今後設置予定の「津別町庁舎等建設審議会」での審議をはじめ、町民に対する説明会を開催するなどして合意形成を図って参ります。

《地域振興》

人づくりの推進につきましては、「人づくり・まちづくり活動支援事業」により、町民の自主的活動を支援するとともに、北海道大学公共政策大学院の学生を中心とした組織との交流事業や高大連携事業を通して、まちづくりの基盤となる人づくりを進めて参ります。

観光事業の充実につきましては、観光協会をはじめとする関係団体と連携し、さらなる誘客活動やイベント等への支援を行うとともに、観光協会の主体強化に向けた支援を行うて参ります。また、相生総合交流ターミナル（道の駅あいおい）の駐車場拡張やクマヤキハウスを整備して、観光ルートの拠点としての役割を担って参ります。

《行政改革と機構改革》

平成22年3月に策定しました「津別町新行政改革大綱推進計画（改訂版）（平成22年度～31年度）」は、後期5年計画の4年目を迎えました。地域経済の活性化と持続可能な行政経営を進めるための計画として位置付け、アクションプランに掲げる各事業を順次推進して参ります。

《平成30年度予算編成》

平成30年度予算は、「津別町第5次総合計画（平成22年度～平成31年度）」と地方創生事業に関する「津別町人口ビジョン」及び「津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき編成したものであります。

中でも、複合庁舎の建設にあたりましては、新たに審議会を設置し、町民の皆様との意見交換を含めながら進めて参りますとともに、地方創生推進交付金事業としまして、まちづくり会社設立準備を主とする「まちなか再生とまちの賑わい創出事業」や「再生可能エネルギーの利活用推進事業」「障がい者・生活困窮者の働く場の創出事業雇用拡大」などを実施することとしており、人口減少社会に対応する確かな取り組みを進めて参る考えであります。

本年度も職員と一丸となり、町づくりに取り組んで参りますこととお誓いし、平成30年度の町政方針とさせていただきます。

津別町長 佐藤多一